

この取り組み・事業の目的（ゴール）は・・・

【例】 この取り組み・事業の目的（ゴール）は・・・

生まれた場所によって
未来の選択肢が制限されてしまうような社会でなく、
進学・就職でいずれは島を出ていく子どもたちが
自立した大人として島に戻って来られるように
寄り添える場所、コミュニティを創出・運営



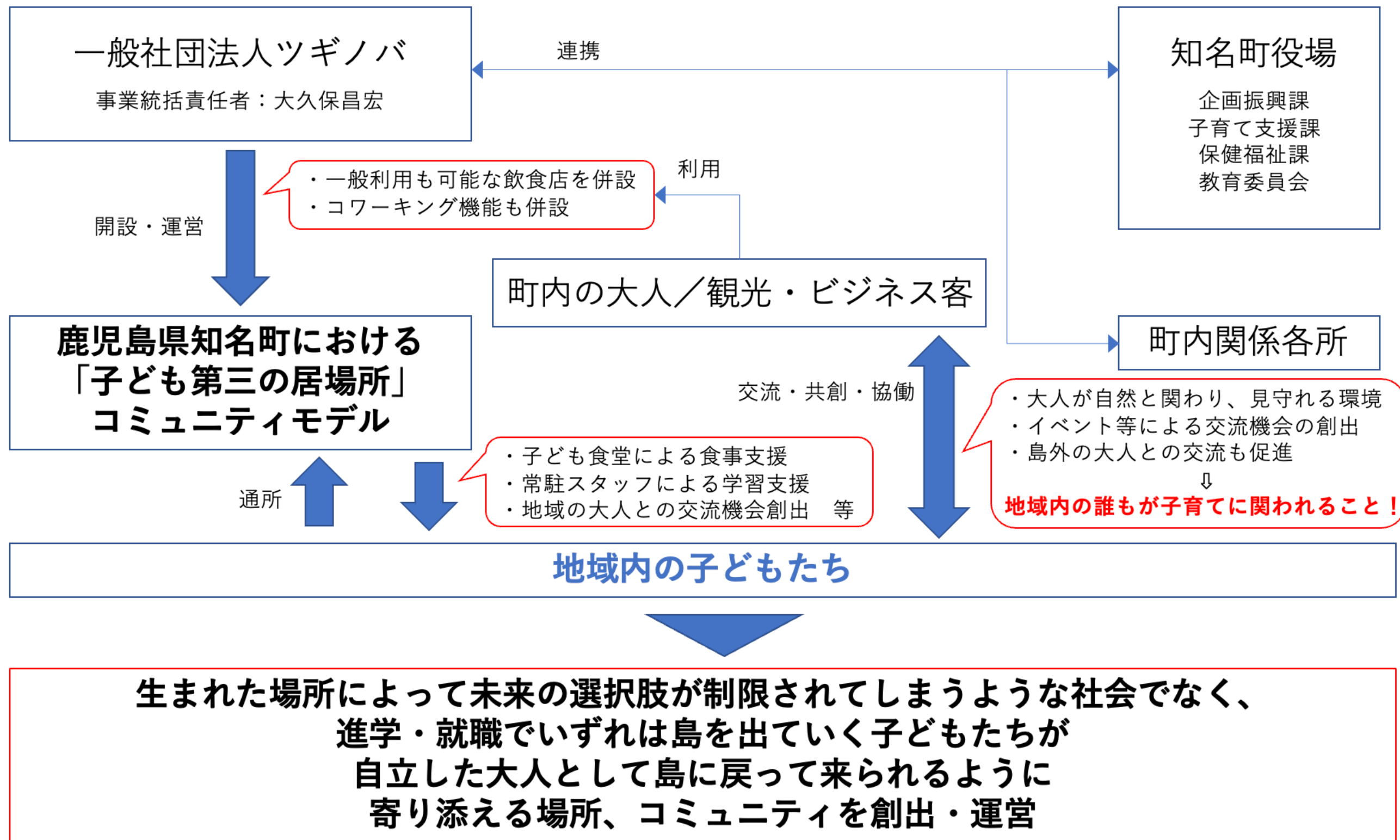
- ・ 子どもたちが定常的に通うことができる居場所をつくること
- ・ 大人と子どもが自然と接することができること
- ・ 地域の子どもをみんなが意識できること
- ・ 子どもたちの選択肢の一つになること



- ・ 域内連携構築によって新たな取り組みの創出（関係人口増加）
- ・ 帰巢意欲の向上（→Uターン人口の増加）
- ・ 暮らしの満足度向上（→定住人口、移住人口の増加）

目的（ゴール）の実現のために行うことは・・・

【例】 目的（ゴール）の実現のために行うことは・・・



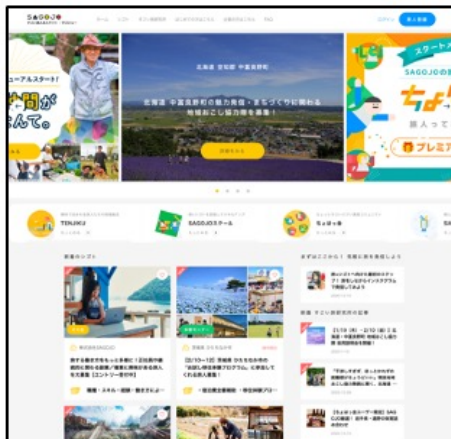
【例】目的（ゴール）の実現のために行うことは・・・

◆具体的な活動コンテンツ

①オープンキッチン

毎週平日の2日間（17～19時）、土日の1日（11～13時）に飲食店・コワーキングスペースをクローズした状態で無料で子どもが食事をできる時間を提供。
おもに小中学生の子どもを対象に、調理・配膳を常駐スタッフとともにやり、みんなで食卓を囲む。

③キャリアイベント



全国各地に旅人を送客するサービスを展開しているSAGOJOと連携し、毎月1回、小・中・高校生を対象に全国各地でさまざまな働き方をしている“旅人”を招いて、自らのキャリア等について話をしてもらうイベントを開催。

②非認知能力向上を主目的としたイベント・ワークショップ

毎月1回の開催をイメージして、専門スタッフによる子ども向けイベント・ワークショップを開催。
非認知能力向上を目的に、子どもたちの自主性を高める内容を年間通じて継続的に実施していく。
専門スタッフは、北海道利尻島にて非認知能力向上を目的とした塾「利尻あそびどころ」を運営する廣瀬諒（ひろせ・りょう）が担当。



④各種イベント・ワークショップ

子どもだけでなく、地域住民の大人でも参加できるイベントやワークショップを不定期開催予定。



過去開催WS